



THE COCOA SNAPSHOT

2019/20年度 最終報告

ココアホライズンプログラムのニュースと最新情報を世界各地からお届けします。

ココアホライズン財団は、子どもたちと自然を保護しつつ、カカオ生産者の生計を向上させることを目指しています。現在はコートジボワール、ガーナ、カメルーン、ブラジル、インドネシアでプログラムを実施しており、今年**はさらにエクアドル*でも開始しました。

新型コロナウィルス(COVID-19)の世界的な感染拡大によって、持続可能なサプライチェーンの重要性が再確認されました。従業員やトレーナー、生産者の保護は私たちの最優先事項です。厳格な予防措置を実施しながら、幸いにも生産者とそのコミュニティを支援する活動を一定程度継続することができました。加えて、財団は生産者に石けんや給水所、マスク、消毒液、COVID-19に関する情報などを提供しました。

*COVID-19の感染拡大に伴う制約により十分な検証が行えなかっただため、エクアドルにおける活動は今回の報告書では取り上げていません。

**会計年度は2020年8月31日に終了。



生産性、コミュニティ、環境活動を通じてインパクトを測定し、変化を促します

ココアホライズン プログラムの内容:



プログラムが 達成したこと:

- 生産者グループおよびメンバーの参加要件
- 生産者からバリーカレバーが購入するまでのカカオのトレーサビリティ
- 生産者グループの能力開発およびアカデミーからの卒業
- 目標に沿ったカカオ生産性および所得創出活動
- 子どもの保護に焦点を当てたコミュニティ活動
- 目標に沿った環境活動
- プレミアムの使途に関する透明性

**生産者グループおよび
メンバーとなるための要件:**
全ての生産者グループが署名し遵守しています



生産者グループ

- サプライヤ行動規範
- ココアホライズン協定*

*児童労働憲章および森林保護の誓約を含む

- 全世界で**181**の生産者グループ(新規**30**グループを含む)がココアホライズン認証カカオを供給しました。前年から**20%**増加しました。
- プログラムに登録している生産者**111,678**人がココアホライズン認証カカオを出荷しました(前年度から**31%**の増加)。

→ ガーナ: 63,025人

→ インドネシア: 1,502人

→ コートジボワール: 40,861人

→ ブラジル: 483人

→ カメルーン: 5,807人

- エクアドル(304人)では、ココアホライズンの活動を実施するための基盤を整備しつつ、プログラムの紹介と生産者データの収集に重点を置いた導入に成功しました。



完全で正確な生産者データは、生産者のニーズに最適な活動内容を設計、調整し、優先順位付けを行う際の鍵になります。プログラムの急速な拡大により、プログラムに登録している生産者**106,199**人から既に完全なデータが取れています。これはココアホライズン認証カカオを出荷する生産者の**75%**(**83,197**人)に相当します。

力カオ豆のトレーサビリティ



・ 111,323トンのココアホライズン認証カカオを出荷しました(前年度から24%増加)。

- コートジボワール: 50,321トン → ブラジル: 1,987トン
- ガーナ: 47,509トン → インドネシア: 1,000トン
- カメルーン: 10,506トン

- ・ プログラムへの需要は高まっており、ブラジル、インドネシア、エクアドル(1,503トン)といった新しい生産国での能力開発に伴って、既存の生産国と同様に成長しています。
- ・ ココアホライズン認証カカオはすべて、生産者から最初に購入したバリーカレバーの拠点まで追跡できます。そこから先はマスバランスの原則に従います。



ココアホライズンアカデミー



ココアホライズンでは継続的に生産者の卒業システムを公表しています。これにより、特に新しい生産者グループにおいてトレーニングの成果や生産者の知識保持レベル、ギャップの評価が可能になります。

トレーニングでは適切な生産方法のほかに社会、環境についてもカバーしています。

今年度は評価を受けた81,160人の生産者のうち60,870人が卒業し、合格率は75%でした。



これは個々の生産者に合わせてカスタマイズした指導を行い、より多くの生産者にココアホライズンの手法を取り入れてもらうための最初のステップです。

目標は今後数年間ですべての生産者に評価を受けてもらうことです。

生産者の繁栄



カカオ農園の生産性向上は重点分野のひとつであり、ビジネスプランは生産者とそのコミュニティの生計を改善するためのプロセスの基礎です。

ココアホライズンが投資したインフラを通じて…

- ・ 36,324人の生産者がビジネスプランの提案を受けられるようになりました。前年度から266%増加しました。

- コートジボワール: 17,672人 → ブラジル: 204人
- ガーナ: 14,684人 → インドネシア: 308人
- カメルーン: 3,456人

- ・ 15,020人の生産者に生産性向上プランを提示しました。ビジネスプランを取り入れた生産者の49%に当たります。
- ・ 1,391,170本のカカオの苗を配布しました(前年度から79%増加)。



生産者を貧困から救い出す

個々の生産者に合わせてカスタマイズした指導や、所得の多様化に向けた活動などの革新的なサービスを通じた生産者支援は、貧困問題に取り組むための鍵です。

プログラムに参加している生産者のうち57,495人(全体の40%)が世界銀行が定義する貧困ライン(US\$1.90/日)を上回っています。



コミュニティ



児童労働を撲滅する—直接的なアプローチ

ココアホライズンは、サプライチェーンにおけるCLMRS*の導入を拡大し続ける一方で、より効率的な方法でより多くの生産者を支援するために、並行してリスクベース・アプローチを開始しました。

- 110の生産者グループにCLMRSを導入済みです(前年度から162%の増加)。全生産者グループの61%に当たります。
- 81,892人の子どもたちが児童労働を識別するためのモニタリング調査に参加しました(前年度から182%の増加)。これにより、改善するべき事案が22,519件発覚しました。つまり、調査に参加した子どもたちの72%は児童労働には従事していませんでした。
- 335件は改善が完了しており、現在4,786件について改善に向けた取組みを行っています(前年度から105%の増加)。

*Child Labor Monitoring and Remediation System(児童労働監視改善システム)の略。



児童労働を撲滅する—コミュニティの取組み

個々の問題の改善が重要である一方、長期的には根本的な原因に取り組むための予防策が求められます。

- ココアホライズンのトラックがコートジボワールで38のコミュニティを訪問し、児童労働問題に対する意識づけや健康チェック、コミュニティでの取組みに関するサービスを提供しました。この活動はCOVID-19により制限されました。
- コートジボワールでは、17,451人のコミュニティメンバーの児童労働に対する意識が高まりました。

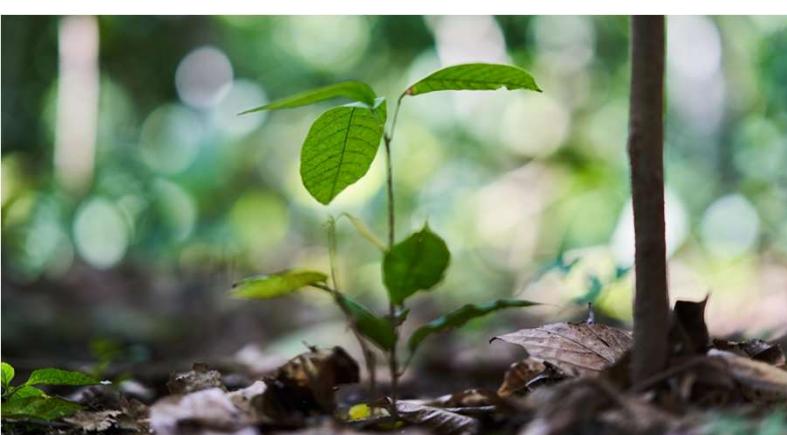
女性のエンパワーメントと子どもたちの保護

研究が示すように、女性が収入を得ると子どもの将来やコミュニティに投資する傾向があります。そのため、このプログラムでは村落貯蓄貸付組合(Village Savings and Loan Associations、以下VSLA)を開設し、女性のエンパワーメントに投資しています。この活動は、とりわけ子どもを中心としたアプローチを推進したり、女性たちに自信をつけたり、生産者の資金調達に関するソリューションを提供したりするのに役立ちます。

今年度は主にコートジボワールとガーナで800のVSLAが設立されました。



環境



農園のマッピングを通じて、カ力オが保護林で収穫されたものではないことを確認しています。同時に、森林保護に対する意識づけといった活動だけでなく、カ力オ生産者コミュニティにグリーンエネルギーを提供することにも注力しています。

ココアホライズン認証カ力オを出荷する生産者の76%は森林破壊に加担していないことが立証されました。

環境に関しては、次のような活動を行いました:

- 1,574,758本の日よけ用の木を配布しました
- 4,191個の料理用コンロを配布しました
- 85,647人の生産者が環境保護に関するトレーニングを受けました



こうした投資によって、二酸化炭素排出量を132,523トン削減しました。

今後の展望



今年度は、変化を促すに影響力の大きい活動の規模を拡大して実施し、前年度からの経験を活かして実行することに注力しました。

子どもたちと自然を保護しながらカ力オ生産者の生計を改善することに継続して焦点を当てていくため、プログラムは以下の取組みに結びつけて活動を展開します:

- 責任感を持ってサステナビリティ活動に取り組んでもらうため、生産者グループの能力を強化します
- アグロフォレストリーの仕組みを確立するため、生産者とともに歩みます
- アフリカ地域のサステナビリティ・スタンダード(the African Regional Sustainability Standard)に準拠するため、西アフリカの生産者グループを支援します
- プログラムの拡大を支えるため、内部統制のリソースを増強します



ココアホライズン プレミアムの配分:

単位:
スイスフラン

2019/20年度



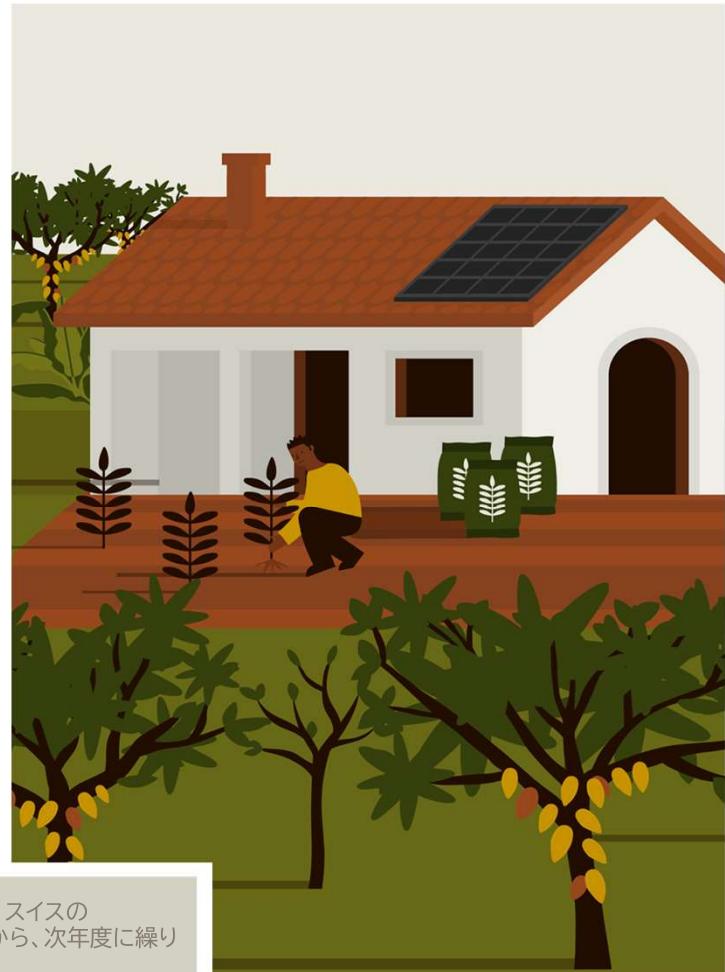
ココアホライズンプログラムの収入
プログラムへの寄付金

17,664,267

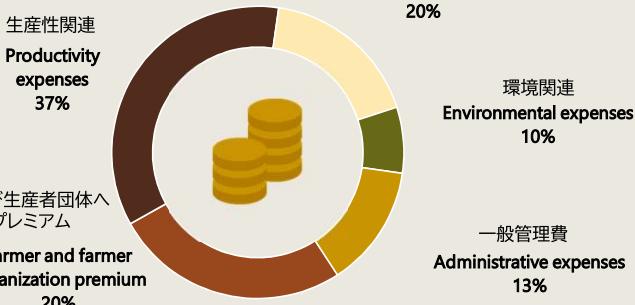
ココアホライズンプログラムに関わる経費

生産者および生産者団体に支払うプレミアム	4,367,172
生産性関連費用	6,026,921
コミュニティ関連費用	3,013,551
環境関連費用	1,177,429
一般管理費	2,254,608

上記はココアホライズン財団の年次報告書からの抜粋。財団の会計監査は、スイスの PricewaterhouseCoopers AGが実施しています。プログラムの補完的所得から、次年度に繰り越される費用を差し引いたもの。



2019/20年度 プレミアムの配分*



*実際の内訳は地域特有の事情によって±5-10%程度異なる場合があります

コートジボワール、ガーナ、カメルーン、
ブラジル、インドネシア

ココアホライズン認証力カオを出荷した生産者の100%がプレミアムを受け取っています。



上記に含まれる情報はすべて、PwCによって検証済みです。この報告書に記載されているパフォーマンス指標(*印のものを除く)は、2020年8月31日に終了した年度のココアホライズン財団の更新報告書からの抜粋です。報告書の内容はPricewaterhouseCoopers LLP (PwC)が任命され、利害関係のない立場で保証しています。PwCは国際保証業務基準3000(改訂版)(the International Standard on Assurance Engagements 3000 (Revised))に従って保証業務を行っており、その範囲は更新報告書に含まれるKPIに対する保証に限定されます。

更新報告書およびPwCの限定的保証報告書は、こちらに掲載されています: <https://www.cocoahorizons.org/reports>.



生産者の声



ガーナ



ANTHONY

「融資を受けたおかげで、私は自分の農園における文化的な慣行をすべてタイムリーに行うことができました。MFI(マイクロファイナンス機関)の多くが一夜にして破綻し、貯蓄が失われてしまうのとは異なり、VSLAを通じて私が拠出した資金は保証されます。野菜の栽培技術を身につけたので、もう一つの生計手段として野菜を作りたいと思っています」

カメルーン



CHRISTOPHE

「新しい取り組みなので、生産性向上パッケージへの同意には少しためらいがありました。私を納得させてくれたのはトレーナーからのアドバイスと、私が管理している農園に薬剤を散布するスプレーを設置できるということでした。このプログラムに参加できてとてもうれしいですし、昨年よりたくさんの力カオを収穫したいと心から願っています」



コートジボワール



SEVERIN(トレーナー)

最も大きな課題の一つは、力カオの木を剪定する必要性を生産者に理解してもらうことです。力カオの木は葉が多いほど多くの実をつけると信じているので、生産者の多くは剪定をしたがりません。しかし、生産者の一人と一緒に剪定作業を行うことができ、他の生産者の模範になりました。現在、彼が栽培する力カオの木は地域で最も豊かで、大きくて美しい実をつけています。剪定された力カオの木では、収穫量が40~60%増加すると考えられています」

ADAMA(生産者)

“私の農園で、力カオの木がこんなにたくさん実をつけているのを見るのは初めてです”



エクアドル



MARIO

「ドローン・マップ*は革新的です。プログラムの恩恵によって私の知識と生産性は向上し、コミュニティが豊かになっています」

*2020年度、ココアホライズンは農園のマッピングへの取組みを革新するため、ドローン技術を取り入れました。

